

談話会通信 No.36

東京蜘蛛談話会

{ 日が暮れる、野は風が強く吹く、林は鳴る、武蔵野は暮れん
とする。寒さが身にしみ、そのときはレソギたまえ。……
いつのまにか、季節は、独歩先生のレウ、ウモにと、とも。寒のよき人にもうられ
冬へヒガカリつあります。みどりし、いがわがすごいですか。

ふと外を歩いてみると、寒にもがくわらず、ゲンバッテいるジョロウグモに
ぞめうことがござました。ジョロウグモにも、こだつに、脚をいかせてあげたい。

* 住 所 変 更 で す。ヨロシク。

新井弥生さん

〒369-12

埼玉県 大里郡
花園村小前田619-5

河又和夫さん

〒310

茨城県 水戸市
城東5丁目4-15

栗原(加藤)輝代子さん

〒270

千葉県 松戸市五香六東734

篠地満男さん

〒880-11

宮崎県 球磨郡
国富町大字本庄5589-1

* 新 入 会 員 の お ざ る。

加村隆英さん

〒569

大阪府 高槻市千代田町1-1

セントチリーマンション 527

* 住 所 変 更 の お (追加)

松本誠治さん 〒187 小平市学園東町2丁目12番23号

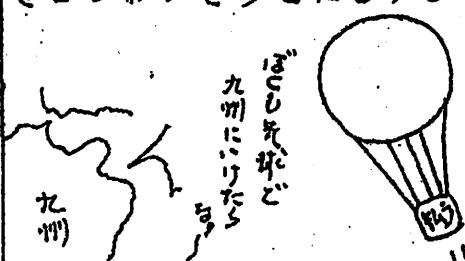
神子島毅ル 〒185 山形市日吉町1-45-1
神山マンション305号

合 同 例 会 12月20日 大橋区民会館

責任者 松浦祐司ル 〒211 川崎市中原区南612番 G204-422-2842



さんれさざ、飛ささ原さ、飛の、リス
さそ藤会るて井に東つ秋徹Cのぶースら
“佐学あい藤が、う今、近)。こフア
五んのの、ごつの済にを(一を体す、いり
尙さじ夏モに葉をれん網個まだ、y便り
か”、ま今クモ干勅そたさのれだLady使
せ議すはのグ、活、越モ1ういLのす。
な思ぶん性シの、abit極グ、おり、んま
“可にさ化キた会るるラ、てよは、さし
不采う多ンしのまくれサレシ、す藤た
は、が横ヒのナま毛リララシお認方ま佐レ
今回こ、さ化ウケフがばうぶに確の。介
どら(4ニさ(てしこツ察を入す、ご紹
かん年ナ表んれへれヨ観教5まト御



私の息子キムラグモは、穴にぐり食らはばりました。とてもうまいよしと、夜、少し、生き残ります。しかし、胸の痛みで死んでしまった。

10月11日 朝、キムラグモは死んでしまった。

10月19日 今もそのままの姿で、机の上にあります。アーヴィングの「死んだ猫の写真」と一緒に……。

〔にヒエ、お跡エレガみつからなかたとして、佐藤さしに、最期をみるかじにだき、今もあら、佐藤さしの心の中にしまわれている。ドライさんほ、たとえ、幻とも、こしま、とも、いかせだ、たのぞはるいぞ〕

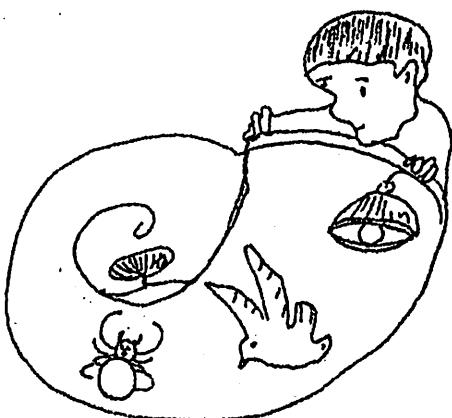
次は、

・藤井悦子さんからです。
ピートリイ (Susan C. Petrey)
が35歳で亡くなりました。オジン州立大学で微生物学を専攻した近視の女性作家で、U.S.AのF&SF誌(Mercury Press.)に短編3作を發表したのみ。3作のうち、*Spareen Among the Tartars* (スピリーンヒタール人), *Spareen Among the Cossacks* (スピリーンヒコサック族)は、風変わりな吸血鬼ものですが、「*Spidersong*」 (蜘蛛の歌)

(SFマガジン、1980年12月号)ア

わんとこいルコブをよトトイ又、「うがふは、(公一)トも(ネ人を口チウ人をえ人知た)トも、(うろり家かい)。生ますトシ主事玉と、悲徳い。といががるいジのぞはすし長くいます。レガの持きこへ。うい、こち法全うタジのぞはすと、長くいます。リュブ已分のじた間いそも、べ方完こソナリは、も、たとわむじます。リク自トひ。人へ「べ。も食の不に、少いもは、も、たとわむじます。は、むの、一いす。か、食らうた愛がモフに恋話には、も、たとわむじます。リエ良まが、「おて。」をしとまはこくするヒモなるイタリイ氏が、も、と、モタジーをつづく、て残念です。

〔ピートリイ氏が、も、と、モタジーをつづく、て残念ですね。〕



・Cもとのこと

三

六七三〇

まことよし

—日本蜘蛛省—

一四本題辭為一

『はじめまして。私は、どこか不可思議と申します。もううん。
second name です。』

も、ましがら、彼お信察、てゆ
のくやまし出彼つ、て通我を、が
のくま。る、づらめ会、性む、
山は手するは、まが深詰に、間かく
決も勝まとこじよを譲ましとい
もとびりりり壁のさういろ、
つら庭、わ工つれや親こちしたよ。
いかのどのみどて、みわき、み
こ穿んらをれりと隼、がゆごま
は、ど我嘗彼まさりる今こ、てのく
に、を、ひ、た。しのしつた
家がて活る、にひとするも分まい
我ちき生にく縄をクまヒク紹りい
にて庭多の虫うりきの三からが

- 我家のウモたち -

つかつ。クレ半す。たじうにも
だかん。然じ觸ざい特よの長
だせ鰐ど時の続、レウ体を
まま、2たがろ應じて
レリ曰ををへ曰たがヒリニ
は、ある。ろつゝも育だめま
は、がある。こさ密く飛匂ごと
しヒの。ヒム、の下ま
詰こ月。るケにて、モもまた
うた8のべ、直ノグ月の度
じい、間倉このあウ8故都
た人にけ年も口。
て、私ガうが今い
モともセジョ
幼子

を、リで、をがまいてにに元き
アの日あう、がし的が、て
 (?) アの日あう、がし的が、て
 garden ガーデンをリリカタば、て
 らやグーしのアボ体されが、
 トん garden るりにらしろにらも、るび
 せん シガヨ手とがう初じてび
 ラせん ジガラガよ、こだ)。と
 がまいう、ジガラガよ、こだ)。
 広散りのも、リのもだ内もど
 ぎ 広散りのも、リのもだ内もど
 程 毎日、我と、にるい。あ(五
 ひ web が、が切手い動すが餓
 が、リ勝てらま被飢の
 ひ、 貪り、勝てらま被飢の
 が、リ勝てらま被飢の
 ひ、

いそいざ、かけより、何のためらひもなし。それを口器ごとのえ、webの中へにも、こじき、捕食をはじめたのです。私は、またかじりしきすが、何度も、みゆくおしゃんのござすが、ジヨロウブモは、消化液のようちものとにじました。せーす。おびきいた私は、近々にいた。ヒメグモのwebにも、何ににじました。ヒメグモは、10分でみました。ヒメグモは、10分開程、それと口器ござくてしてしまったが、その後、はるかにしまいました。

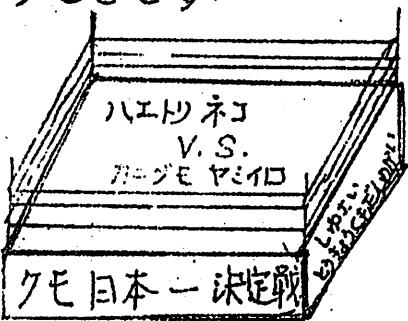
私は、何ぞ時間、様子をジーと眺めながら度々見ました。も残り者程度の通り、のどには、ただ球形の丘ととなり、そこには、生きりしました。私は、ふと、光ほどのビメグモの事が気がかり、のを向けてみると、…オッオオー、どうぞしょう。もしヒメグモも…。を半分以上消化して、吸いこんだいのござす。これには、私も当然としてしまいました。30分後、ジヨロウブモは、…しまい、またヒメグモも、残り少くな、たまに(アツ)いけていました。

みるをしも、一度お試しによつてるいかがどうか。自分の体から出たものの気になれば、クモが食べる。案外、兄弟にいたのだが、なれるかもしれません。私は、どこか不可思議なことでも、いってますか?

は、り、たいちにがらぞきといふのござしく。おとらしく…。は、rouseから分泌される。(脛膜に存在する、外分泌腺から分泌される)。粘液が分泌され、たものぞれすかう。よいと質や、糖分が含まれますから、さうと骨格、いのとくも食べてもおもしろい。それが刺身でもある。それがねぐらを呼んで食べると、さしがるレモンをも食べるかもしません。」

このへりご、どこが不思議とさしもります。ほら、とおじょうさがりましたが話めりか」とさがしました。

○不思議エシとは: たろがわりに、"なぜか"奇正、サインが、といふの声ぞらが、入ることになりました。この方の場面に出公、とくにいうことじです。



「5月7日、東京学芸大学特設リング場
レフリー……ジョー・通口」

・ここご再び不可忍譲りなしに發
喝してもららひます。

この網についてのコクヨのどちは強獲するえるれさらうで
あるのwebにEの、きみがに、に論web上種
にEに、れ上て、れん合し果とweb結web。二
の識。がとwebするがcaるオクスガるEのの
都は。しるwebにあ体くれたよ察夫かグロジ
のみ。觀ge動ご自まくしし觀工わサざ威
我棚めくる物振のwebうわとてこのがクみた
のどを。わがど動作逃したる、棚の
来モの造しよがな振動ちきがぐいばると
サグもうなきじ日の食ののだ防てえなた
サなこは歩ヒい物振ニモのれい单



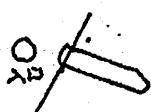
圖二

ほど、本れで、確御に
めみるほど、一そりは、
なく、わいてを的助
めな紡いども補助
はにてりえ。う
て変われたのもう
の太わ役にめお
ては、おのぶたと
したばら赤るい。
がしあに。おえす
き本どじ。ぬ拂ぎ
にすぎ

にう前、未て、こ、にも、と
巣期から以降、かしたは旬たる、ら期
のる側う。ちいご上、こが時
あぬじるらをさしを二二
カネコトタテグモのる、
は、集うにを語がりし行いは、ののこに、
テのま冬扉うのまちのがの近月しじ
タ分一、じ私つうそとる。まよが感
ト自てりはと。らたのいる耶をしる。
3. ゆ、しよテるる期うまちはれ産と。うた。
カネコト冬タする時に、るにわたこたよし
かいうるト冬がの全とし冬もまるいのど
がらあコ越と今完のて、越がじつたの



小傳



星の時代

カネコトタテグモの巣

会費は
〈会計〉へ



KUMOGIN くもぎん

会費受領 1981.8.10～11.10.
(松井新蔵)

55 年度

雄幸藤・生木・魔須正原・宜沢水・生・

56 年度

管鴻臚·新海常一·水汎正明
巴而璽·佐佐地刊行

田中 樹根・作佐地利行・
松本 誠治・浜村徹三・野戸 章

近藤昭隆、藤川利高、吉川昌夫、川村良輔、中西和也、田中昌利、大庭義典、佐藤和也、川口泰一、川上和也、川上和也

勝利高一
幸本株式會社
光英代下相久

吉倉真
源良・辻柳門・佐々木久
鐵幸・大山巌・石橋源二

良代簡干熊大佐大輔

近藤恭子・福本伸明男・山川守
渡辺好音・谷川

新井明方・弥生・
佐藤太郎・郷・合・
草津・近辺・片岡

萬善暗覺吉用哉
不謝名松悅

松田まゆ子・木藤喜子・島雄毅・

弘席雅須越原堀宣生・夫二哲健内沿木大河八

洪谷安生

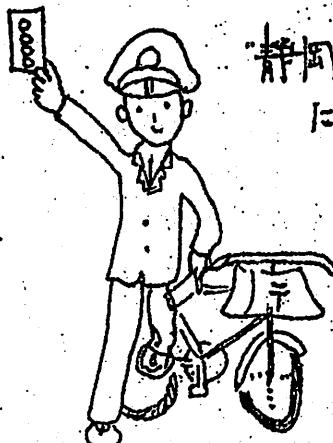
五〇年度

松風閣主人下謝名松風・
鶴田忠雄・源氏傳の
序文

馬志義·馬志雄·繩本作馬
御座付 譜古樂器考

御守付 藤本伸男様

みなさん、のつくと下さるペ
ジのドドリには、堀越雅弘さ
んに、おじぎおねがいたいとおも
ります。・堀越雅弘さんより



静岡の
により

リクニをガシの)の力、バ、み、て
ガ、成ら造業た。者電かラしにこめ
にてた結り襟干し 場部めパか剣を咲
日にし会。(ま 来中にもし真ビだ
6館さ諸こは夜(ま た半、のんた
ト会れ哉、手(ま りは、後ビのと、
月蓋かもよ展之かの半も、いもほも、
8見らくに。1、お。る前さ(てた、て
へ立ひ岡志す真リ。0.0.0.0.0.
日市が静有ぞ写よ3にがもはいい人にだけ
9岡会「」の、レ本気すヒリがはる場る
日静示。るも仗士標もぞ示い人、れ会去
8展はみた6間の最子展のとはく示方
乙をれ夢ルノ浅渠様の人う人て展打方

「静岡蜘蛛談話会は、遠方にみりて思ふも」…

赤いわ



つい最近の、よみがれ
いよいよに。

“クモの子も生きている
で、下駄のゆきよえか”
のせられておりました。

クモの子も生きている。

高校生 16歳 鹿児島市
それは期末試験を目前にひかえた音楽の授業中のこと。歌をうたって「これ見て」というのが、何とかだらけた。「はら、こどりがよいかつて」。歌詞のよう生き物をみつけた。

体長約1ミリ。どうみてても「毛五が動いていい」と思ふ。足がまる。数えてみるとハ八本。これが「もくもの一種」。

二人は見下す生物を得意には、他の友だち方にみせた。
「あ、それクモの子どものよ、うちの庭にいる。ぱい生れてるよ、そんちちのに、かまわぬ

ふざん／＼言してク
ふざんが、少し、てばれ
ふざるが、もう、うううといこ
ふじにがも、心くだらないこ
私は想像も、本当に、本高らずも、
を生き、子んざで。ね。が、
うだらうで。か。うだら
私はとおとけしま、翌朝。は、い、
チックに、なぞあす、と、は、い、
たのぞか、なぞあす、と、は、い、
意深く、か、なぞあす、と、は、い、
ほり、そ、その、と、は、い、
元物を待っていた。私は、まき
るとはどういふこと、まののか、教
えられた気がいた。

この立をも、こ、編集後記に
かえさせていただきます。(K.S.)

東京 虫蝶談話会

No.36

1981年11月20日 準行

本部：〒191 東京都 日野市豊田 1896.

皆島 泉 0425-81-7128

事務局：〒185 東京都 固分寺市 本多 1-6-6.

シンカイ 写真館内 0423-21-0289

会計：〒190-11 東京都世田谷区、羽村町羽加美3-6-31
(郵便振替 東京7-74885) 熊田庵一 0425-55-4444

Kishidaia 原稿受付：〒226 神奈川県 横浜市
神奈川区竹山町1-12-11 貞元巳良 045-932-3980

通信原稿受付：〒343-01 埼玉県 业島郡
松伏町松伏370-8 駿木勝浩 0489-91-2984